

降ひょう後の小麦対応について

令和4年6月9日
本庄農林振興センター

1 倒伏した小麦の処理

(1) 茎が破損した場合

- 倒伏の程度が小さく、刈り取りが可能な場合はコンバインによる収穫を行い出荷する。
- 麦稈はコンバインでの切断（10cm程度）後、トラクタで鋤き込む。
- 特に、自脱コンバイン前部の往復動刃（バリカン状の刃）、後部の排わらカッタの切れ味に注意する。
- 麦稈が損傷している場合は、汎用型コンバインでの収穫を検討する。
- 麦稈は逆転ロータリーを使用し、深めに耕耘する。

(2) 全面倒伏した場合

- ハンマーナイフモア、ストローチョッパー等を使って、麦稈を裁断した後に鋤き込む。
- 切断幅が小さいと、代かき時に水に浮いて作業がしにくくなるので、やや長めにカット（20cm程度）して鋤き込む。
- 麦稈は逆転ロータリーを使用し、深めに耕耘する。

2 鋤き込み後の水稻基肥

(1) 麦稈のみを鋤き込む場合

- 麦稈の腐熟化に必要な窒素成分を補給するため、基肥を10～20%増肥する。
- 毎年麦稈の鋤き込みを実施している場合は、平年どおりの施肥とする。

(2) 子実と麦稈を鋤き込む場合

- 水稻の基肥の窒素成分を通常より1.5～2kg程度減らして施用する。
- 生育中に葉色が薄いなど窒素成分の不足が見られる場合は、窒素成分で1～2kg/10a追肥を行う。

(3) 子実と麦稈を焼却した場合

- 子実が完全に焼却できないため、水稻の基肥の窒素成分を通常より1.0kg程度減らして施用する。
- 生育中に葉色が薄いなど窒素成分の不足が見られる場合は、窒素成分で1～2kg/10a追肥を行う。

(4) 共通の水管理

- 代かきは浅水で行う。
- 麦稈や子実を鋤き込んだ場合、有機物の分解に伴い、有機酸やガスが発生し根の生育を阻害するため、田植え後2週間を目安に軽く中干しを行う。
- ガス抜き後に雑草の発生が見られる場合は、除草剤の中期剤で対応する。

3 水稻の育苗管理

- 降ひょうにより苗が痛んでいるため、苗立枯病対策として以下の剤を散布する。

薬剤名	希釈倍率	使用液量	使用時期	使用方法	総使用回数
タチカレースM液剤	500～1000倍	500ml/箱	播種時 又は発芽後	土壌灌中	3回以内
ナエファインフロアブル	1000～2000倍	500ml/箱	播種時から 緑化期	土壌灌中	2回以内

- 葉色が低下している場合は、窒素成分で0.5g/箱の肥料を500mlの水に溶かして散布し、その後、葉についた肥料を清水で洗い流す。

《注意事項》

- ☆ 農薬は令和4年6月8日現在の登録内容です。
- ☆ 農薬を使用する際はラベルや袋に表示された使用基準を必ず守って使用しましょう。
- ☆ 農薬の飛散防止に努めましょう。農薬の使用記録をつけましょう。